第２学年　　数学　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>教科書『新しい数学』
問題集『数学の問題ノート』</td><td>持ち物</td><td>(毎回必要なもの)
教科書、問題集、ファイル
筆記用具
(必要に応じて)
コンパス、三角定規、分度器、
はさみ、のり</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">授業は教科書を基本として、プリントや問題集を使いながら学習を進めていきます。

＜確かな学力を身につけるには＞
公式を覚えて問題を解くだけが数学ではありません。なぜそうなるのか**根拠を理解する**ことが大切です。また、自分の考えを伝えようとすることで、筋道を立てて考える力が身につきます。

＜家庭学習では＞
問題集は、学習したところまでを自分で進めていきましょう。
授業で出された課題に取り組み，期限を守って提出しましょう。

＜定期テストでは＞
問題集で間違えた問題を正解するまで解き直し，授業プリントと教科書の問題を繰り返し取り組みましょう。答えを覚えるのではなく、解き方を覚えることが理解を深めることにつながります。

＜章末レポートでは＞
各章の最後にレポートを作成します。自分の得意なこと，苦手なことを振り返る機会にしてください。なお，このレポートを持ち込んで章末テストを実施します。しっかりと取り組みましょう。

＜学び合いについて＞
まずは１人で問題の解き方を考えましょう。分からない場合は他の人に聞き、解き方を理解しましょう。また、教える側も理解が深まります。ヒントを出す形もいいですね。話し合いでは**他の人の考えを聞き、自分になかった発想を知ることが深い理解**につながります。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">〇「聴くとき」「考えるとき」「話すとき」「書くとき」の授業規律を守り、みんなで**良い授業環境**をつくりましょう。

〇提出物は、期限を守って提出しましょう。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画	
一学期	4 5 6 7	**1章『式の計算』** 1節　式の計算 2節　文字式の利用 **2章『連立方程式』** 1節　連立方程式とその解き方 2節　連立方程式の利用 **3章『1次関数』** 1節　1次関数	中間 期末
二学期	9 10 11 12	2節　1次関数の性質と調べ方 3節　2元1次方程式と1次関数 4節　1次関数の利用 **4章『平行と合同』** 1節　説明のしくみ 2節　平行線と角 3節　合同な図形	中間 期末
三学期	1 2 3	**5章『三角形と四角形』** 1節　三角形 2節　平行四辺形 **6章『確率』** 1節　確率 2節　確率による説明 **7章『データの比較』** 1節　四分位範囲と箱ひげ図	学年末

	評価の観点　評価の方法（見取り）	
知識・技能	①文字式のはたらき、連立二元一次方程式、平面図形の性質、図形の証明の必要性と意味及びその方法、一次関数の特徴、確率や四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味、などを理解し、知識を身につけている。 ②文字を用いた四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、関数関係を的確に表現したり、確率を求めたりするなど、技能を身につけている。	・定期テスト ・授業での取組や成果 ・章末テスト ・小テスト
思考・判断・表現	①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考や判断を身につけている。	・定期テスト ・授業での取組や成果 ・章末テスト ・小テスト ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	①　知識・技能を身につけるためや、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、学習に粘り強く取り組めているか。 ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習方法を見直して、改善できるように調整しようとしているか。	・授業中の取組や成果 ・毎時間の振り返り ・レポート ・課題への取組や成果